

— 気象講演会雑感 —

平成 1 1 年度気象講演会開催報告

講演会担当幹事 谷口 恭 (日本気象協会北海道支社)

平成 1 1 年度の気象講演会は北見市で開催することとなった。

以前には、網走市で講演会を開催したことはあったが、今回、北見市を選んだ理由としては、内陸で日照時間が長く、降水量が少ないという特徴がある。そのため、ソーラーエネルギーを利用したカーレースや、暖房などの利用が行われている。晴天日が多いので、天体観測に適していて、近隣ではオーロラが観測されたことがある。……などである。

このことから、講演のテーマを「北見周辺の自然と気候変動」とし、講演題目を以下のように設定した。

日 時：平成 11 年 10 月 16 日 (土) 13 時 00 分～16 時 40 分

場 所：北見市・ホテル黒部

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| (1) 北見周辺の気象特性       | 辻 雅彦 様 (網走地方気象台長)       |
| (2) 天体観測と気象         | 津田 浩之 様 (りくべつ銀河の森天文台係長) |
| (3) 南極を掘る—氷が語る気候変動— | 高橋 修平 様 (北見工業大学教授)      |
| (4) 特別講演「地球温暖化の諸問題」 | 廣田 勇 様 (京都大学教授)         |

特に、廣田教授は気象学会の理事長でもあり、前日に近隣都市での他の会議に出席し、ご本人が北見出身ということもあって、特別講演を引き受けて頂いた。

北見市からは受付係などに職員の派遣のご協力を、北見工業大学には、講師の派遣の他、映写器材の提供などで大変お世話になった。これら関係各機関にお礼申し上げます。

講演会の聴衆は 75 名で、例年より少なめであった。この原因としては、土曜日の 13 時開始だったので、参加しづらかったこと、当日は北見市のビッグイベントである「菊まつり」の期間中であったこと、さらに「地ビール祭り」の最終日であったこと、などが考えられる。

参加者には、講演内容などについてのアンケートをお願いした。

回答としては、「今まで漠然と理解していた地球温暖化について、具体的な数値などを示した説明で分かりやすかった」という意見が多かった。

また、北見周辺の気象については関心が深く、「もっと詳しく知りたい」という意見もあった。

講演会への参加者の内訳は以下のとおりである。

- |         |  |
|---------|--|
| (1) 性別  | 男 63 名、女 12 名、   |
| (2) 年齢別 | 20 歳未満：1 名、20～29 歳：8 名、30～39 歳：11 名、<br>40～49 歳：15 名、50～59 歳：19 名、60～69 歳：14 名、<br>70 歳以上：4 名、年齢不詳：3 名 |
| (3) 職業別 | 公務員：32 名、会社員：15 名、無職：14 名  |
| (4) 居住別 | 北見市：38 名、網走市：15 名、近隣市町村：13 名   |